

地域にはばたく市民パワ－!

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019年7月号(第129号)

発行責任者 佐藤 重松



5/27~6/17 文芸講座 講師 竹内 好夫氏 会場:生涯学習推進センター 写真撮影/仲山 富夫氏

"人間五十年 人間五十年 下天の内を比ぶれば 夢幻のごとくなり
ひとたび生を得て 滅せぬ者のあるべきか"

葵の会 水上 俊彦

受講生全員が習い覚えた謡に竹内先生が舞ってくれた。織田信長、3000の兵を率いて4万5000の今川義元を撃つべく、出陣に際し舞ったという幸若舞に、一瞬なりと言えど脳裏に信長を描き、厳(おごそ)かに信長になり切ったのでありました。

毎年開催してきた文芸講座、今年は観世流謡曲名誉師範 竹内好夫先生の「能に描かれた平家物語・“滅びの章”」と銘打って5月27日(月)から6月17日(月)まで先生の作成されたカラー刷りの資料を基に4回シリーズ(重衡、巴、景清、大原御幸)で実施され、毎回全席を埋める盛況さで成功裏に終了しました。祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり、・・・から始まり、第3回、及び第4回は能の装束で演台に立たれ、にわか覚えの受講生の発する平曲に、先生が舞う姿を披露してくださり、今まで遠くに見ていた能が、ぐっと近くに感じられるものに

なりました。“日本の古典”面白そうです。今まで学校では題名くらいしか教わらなかった古典、元号も万葉集から採られ“令和”となった現世、古典からも学ぶものがありそうです。戦前はあちこちで演ぜられていた能。今回の講座でその基本的な知識を修得で来ました。

「葵の会」平家物語継続実施決定

ところざわ倶楽部「葵の会」は9月~12月、各月第2木曜日13:30~15:30 中央公民館(予定)にて引き続き、竹内先生の4回シリーズ平家物語(清経、熊野、藤戸、実盛)講座を実施することになりました。受講を希望される方はご連絡下さい。(締切:8月15日、費用:2000円、定員:25名先着順)(連絡先:葵の会担当(水上) 携帯 080-6855-5868)

文芸講座感想

能に描かれた平家物語“滅びの章”を受講して

懐かしの映画・鑑賞会

23期 小高 春江



遠い世のこと、滅亡する平家の悲劇的な運命が「盛者必衰の理」を念頭に留めても無常の思い哀れみが胸に迫ります。

能の平家物語の作品内容と物語諸本との違いはあるのか4回の講座を通して学ばせて頂きました。室町時代の能作者世阿弥の功績、簡素な舞台の仕組み、シテ、ワキ、地謡座、囃子方座、後見役座等分かり易い説明を受けた後、平家物語の本文と能作品（講師自ら手直しの口語体訳文付き）を比較しながら平家の世界へと講義が始まり、内容を理解する事が出来ました。

能には世阿弥が確立した複式夢幻能「2場面、前シテ、後シテ、(修羅能)」と現在能「生存している人の時の経過の展開」があると言います。

複式夢幻能の第1回「重衡」と南都炎上、第2回「巴」木曾義仲・兼平との別れでは、主人公の生涯は悲劇で終

わりますが生前の罪で成仏できず亡霊として現れ旅の僧の念仏により成仏が叶い救済される。夢幻能により主人公に感情移入させられ幽玄の世界へ入ってしまいそうです。

現在能の第3回「景清」武人の末路、第4回「大原御幸」寂寥、景清については本文では合戦の様子は有るが景清の名前はあまり登場しない、能作品では伝説の武人も今は盲目となり哀れな余生、娘との再会、別れが待つ。大原御幸では生きながら六道を経験した建礼門院の半生、一門最後と自身の苦悩を後白河法皇に語る。講師の語りが一層花を添えてくれました。

因果応報、両作品とも生きていても地獄の苦しみ、多くの作品に日本独自の仏教思想を取り入れ見る人の心を掴んだ世阿弥の構成力が忍ばれます。

読み物以外平家に限らず舞台化、映像化された物は避けて来ましたが今回の講座で視点が変わりました。古典をふまえた上で、たゆまぬ能楽の修行、世阿弥の初心を顧みて思い忘れず研鑽する、良い講師に恵まれ受講出来ました。

能に描かれた平家物語を受講して

葵の会

24期 田口 宗利



平家物語・滅びの章・本文と能（役籍、作り物、能舞台等）学ぶと共に我々も謡った。

平家の衰退は、殿上人となり、天皇家との姻戚関係を結ぶ等から権力を得、奢り悪行に

因るものであった。幼少期に叙位、昇進した重衡は南都を焼討し仏徒を殺戮した。一の谷の合戦で敗れ南都に引き渡された重衡は梟首された。義仲は法皇より平家追討を命じられた。直後に法王は頼朝に義仲追討の命を出した。義仲は頼朝軍に大敗した。その中に巴が残っていたが戦線から離脱させた。侍大将景清は源氏により日向に流され、盲目となり「平

家」語りとなっていた。訪ねて来た娘の求めに応じて武勇を語った後に娘と永遠の別れとなった。壇の浦合戦で平家一門は滅亡したが建礼門院は、入水するも源氏方に救われ寂光院に籠り、安徳天皇と二位尼の菩提を弔う日々を過ごした。御幸して来た後白河法皇と対面した。平家の敵でもあり、院の義父である法皇に自分の半生を六道巡りに例えて奇しき運命を回想した。聴いた法皇は涙した。六道語りが平家物語全体の要約となっていると言われている。以前に私は薩摩琵琶奏女櫻井亜木子師より平家琵琶による「祇園精舎」と「壇ノ浦」「那須与一」の生演奏を聴いた。先生の講座と琵琶による演奏を合わせ考えると法皇の愚劣さ、愚かな指揮官での負け戦もあり院や兵は哀れでならない。

ミニ講演会

笠松泰洋先生の文化交流使帰国報告会

ドラマティック・カンパニー
方山 みどり

6月14日、笠松先生の「文化庁文化交流使帰国報告会」が中央公民館で行われました。ところざわ倶楽部会員だけでなく、市民大学修了生や26期の現役受講生も詰め



帰国報告会風景

かけ、会場は満席となりました。

先生は南米4か国、イギリス、オーストリアを訪問され、その国の演奏家とコンサートを開いてきました。各国の映像と先生の軽快な語りで、私達はその国の世界に引き込まれていきました。初めの訪問国エクアドルの空港で、先生は大使館の迎えの車を断りました。「特別扱いではなく市民レベルでその国に暮らしながら音楽活動をしたい!」ということで、逆に苦勞されたようですが、

先生の生き方に感動しました。先生は文化交流使の活動で、音楽は文化や言葉の違いを超え、喜び、悲しみを表現する世界共通のものだと実感されたそうです。

最後に先生が作曲されたロンドンロイヤルアカデミーカルテット演奏による「ソネザキ」が会場に流れ、その音色は私達の心に深く響きました。

尚、一昨年10周年記念事業で上演した音楽劇「ハーメルンの笛吹きおとこ」が大成功だったことを受け、今年7月には沖縄でも公演されることになりました。笠松先生の益々のご活躍をお祈りします。



市民大学の今

市民大学26期企画委員とOB三団体」懇談会

“生涯学習”の継続はOB三団体と共に!!

会長 佐藤 重松

6月11日(火)に懇談会が開催されました。

冒頭、茂出木企画委員長の挨拶と企画委員の自己紹介に始まり、続いてOB三団体出席者の自己紹介で顔合わせが行われました。

各会長の挨拶と其々の会の特徴と活動状況の説明を行いました。

ところざわ倶楽部(261名)は、①会員をつなぐ全体行事・②独立した15のサークル活動・③会員が双方向で共有できる広報活動・の三本柱を概略説明。

さんさん会(125名)は、会員がやりたい企画案を出し合い“この指止まれ”方式で多面的な活動をおこなっていると説明。

市民大学OB会(104名)は、講演会の開催や講座の企画を積み重ねて来たが、会員の半数以上が80代となり、役員のみ手が足りない状況。過日の総会で、役員の手が足りるか否かで、継続か解散かを判断したいと説明。

ところざわ倶楽部は、中原総務部長が15サークルの特徴的な活動を全サークルに亘って説明を行い、また、サークル相互のコラボ活動、更には、様々な地域貢献活動について紹介。玉上広報部長からは、15のサークル、全会員、特別会員、友好団体をつなぐ毎月発行の機関紙「広場」と毎週更新のHP(ホームページ)について説明。「広場」やHPの企画編集については、会員のみにかかわらず広くオープンにし、情報の共有化を図っていることを紹介。企画委員の皆さんの共感が得られたように思いました。

懇談の最後の質疑応答では、市民大学OB会に対して、企画委員と事務局側から、9月10日の説明会(入会勧誘)はどうするのですかと迫られ、その場での「苦渋の判断」は、説明会参加を断念する、とのこたえでした。ところざわ倶楽部は、継続か解散かにかかわらず要請があれば、相応の支援を考えたいと思います。

第1回 ところざわ倶楽部まつり開催せまる！

ただ今特訓中！ 出演サークル練習風景 9月25日開催日決定！

第1回ところざわ倶楽部まつりを9月25日松井公民館ホールにて開催することになりました。これに合わせて練習中の、出演サークルの意気込みを報告します。

コーラス 楽悠クラブ

須山久仁子さん（市民大学16期）に3年ぶりのご指導を頂き、「唄って楽しむ」をモットーに、楽悠クラブをはじめとする21名のコーラスメンバーで練習に励んでいます。



コーラスの練習風景 中央公民館音楽室

チアダンス 所沢シニア世代地域デビュー支援の会

SP（スマイルパイレーツ）の「文化祭」及び、倶楽部まつりまで出場は4回目です。会員も少し増えました。新曲「チュウチュウトレイン」、「秋田音頭」を猛練習してきましたのでお楽しみください。



屋外での練習風景

朗読劇「オセロー」ドラマティック・カンパニー

幸せの絶頂にあったオセローは部下の策略により愛する妻の不義を疑います。嫉妬に狂ったオセローは……。今回、私達は「オセロー」の隠れたテーマを基に台本を作成し、朗読します。さて、隠れたテーマとは？



笠松先生とドラカンの仲間たち

オリジナル民話 民話の会

オリジナル民話よ！『河童のお伊勢参り』『塚ノ越地蔵』オリジナルソングで歌って踊るよ！

『民話はみんなの宝物』
「セリフ間違えたごめん」「いいよいいよ分かんないから？」



読み合わせ風景
民話の会

盆踊り 懐かしの映画・鑑賞会

「ところざわ倶楽部まつり」を楽しみましょう！
「懐かしの映画・鑑賞会」では、恒例の盆踊りをを行います。上映会の後に練習を始めています。多くの方に飛び入り参加していただき、会場に響きわたる和太鼓に合わせて皆で踊り、大いに楽しみましょう！



盆踊り練習風景

食を通して所沢を知る会

食トコでは、フードバンクへの協力を進めています。当日は、写真の旗の下で、以下のご家庭にある食品のご寄付をお願いいたします。

ご提供いただける食品は以下のものです。

- ・賞味期限が1ヶ月以上のももの
- ・常温保存できるもの
- ・賞味期限が明記されているもの
- ・未開封のもの

もったいないをありがとうに！



フードバンクの旗

「戦争と平和！」
第 13 回**或る戦争未亡人のこと**

平栗 彰子

信州の伊那谷は穏やかに日々が過ぎ、四季の移り変わりが鮮やかで平和な地域である。子どもの頃の記憶は郷里の自然と深く関わり、近くに住む親類縁者との親密な交流の日々と共にあったが、太平洋戦争の影は深く沈んで、人々の暮らしに密かな影を落していた。

母方のさとは大きな農家で、祖父は世話好きの趣味人であつたらしい。農業の傍ら花火作りが得意で、「啓さんの太白星」と呼ばれ、花火大会のトリとなる銀一色の大玉が自慢であつた。祖母は 15 歳で嫁いで来て 14 人の子を産み 10 人を育て、98 歳の天寿を全うした。母の兄弟姉妹はそれぞれに幸せな家庭を営んでいたが、中でも一番下のみね叔母は気の優しい美人で、私は大好きだつた。

どこの家も当時は食糧難が一番の問題で、食べ盛りの子ども 3 人を抱え、祖父母もいる 9 人家族に母たちは苦労したと思う。食い扶持を減らすために、私とすぐ下の弟は更に山奥の伯母の家に疎開した。その近くに大好きなみね叔母の家があり、そこにも厄介になつた。

みね叔母の嫁ぎ先は山持ちの農家であつたが、長男である叔母の夫・義治は職業軍人の陸軍少佐で、若夫婦の居室には軍服に軍刀を佩いた立派な写真が飾つてあつた。舅姑、小姑も二人同居の大家族の中で、もともと大人しい叔母は気苦労の連続であつたと思う。いつも涙目の顔で私たちを迎えてくれた。生まれたばかりの女の子・美佐子がいた。義治叔父の写真の前には朝晩陰膳が供えられていた。

銃後の守りは戦時中の婦女子の務めで、戦地への慰問袋のために千人針を作つた。晒しの白布に赤い木綿糸でこぶを作るのだが、一人一個の針目に緊張して針を刺した。虎は千里行って千里帰るとの言い伝えにより、その奉仕に寅年の女性はたくさんの針目を受け持ち大活躍した。

そんな山里の日々が一本の電話で破壊された。壁の電話が鳴り、受話器をとつた祖母が義治叔父戦死の報を受け、受話器を取り落として筒型

の部分がぶら下がって揺れていた。腰に下げた皺くちやの手拭を目に当て、「義治が…義治が…」と叫ぶだけの祖母であつた。1945 年 5 月のことである。戦死はミンダナオ沖とだけ知らされた。みね叔母の悲嘆は言うまでもなく、舅姑をはじめ一族が悲しみにくれた。残された娘美佐子は 2 歳になるころであつた。

転進という言い換えに惑わされて、実態は知らされないまま戦況は敗退の一途をたどり、8 月を迎えた。このような悲劇は当時日本中で起こつていたと思う。ありふれた、とは言いたくないが、悲しみに対して鈍感でなければ、残つた者は生きていられない、狂気の時代であつた。

みね叔母のその後は、当時よくあつた対処の仕方がとられた。続出する戦争未亡人の先行きを憂慮しつつも、「家」の存続を考えての辻褃あわせの姑息な手段で、小姑の義弟とのいわゆる「弟直し」であつた。叔母は娘を連れて年下の夫の弟と再婚した。本当にこれでよかつたのか、当事者二人の気持ちに沿って考える余裕はなかつたのかと思う。生活は外見は何も変らなかつたが、姉である私の母のところに来て、泣き崩れていた様子を思い出す。それは悲しみなのか諦めの涙だつたのか知る由もない。新たに夫となつた義弟にもお下がりの新婚生活は面白いはずがなく、挨拶にも顔を上げない様子に、子どもながら心中を押し量つたものだつた。

その後は二人なりの幸せを模索したと思う。二人の子どもに恵まれ、長女を含め三人とも素直に育つたことは救いであつた。叔父は 70 歳になつたみね叔母を見送り、続いて鬼籍に入ったが、あの世でも叔母は申し訳なさそうな涙目で過ごしているに違いないと想像する。

台風生る叔父終焉のミンダナオ**日に透ける鶏冠血の色敗戦忌**

私は敗戦の時、小学校 3 年生であつた。

サークル活動報告

人生100年時代に向けた社会参加活動をめざして！

所沢シニア世代地域デビュー支援の会
田口 元也



人生100年時代といわれるようになりました。これからはシニア世代の生き方も今までとは違った生き方を模索する転換期に入ったといえます。

本サークルは発足してからすでに5年になりますが、この間、定年年齢が60歳から65歳以降と延長されるなかで、シニア世代の地域デビュー年齢や社会参加への意識も大きく変化してきているように思います。

本会は、これまで出前講座を中心とした「なんでも塾」を開設し、シニア世代の社会参加活動と呼びかける学習活動を行ってきましたが、今年度からは「市政ひよこ塾」を開設し、シニア世代の意識変化に対応した新たな学習活動をスタートさせ、そこから社会参加活動を考えていこうと思っています。

第1回目は「高齢者の福祉」で「人と人との絆によ

り支え合い、自立した生活を送るために」を基本理念とした所沢市の高齢者に向けた福祉政策を学習しました。

第2回目は、自治会や町内会など日常生活圏ごとに配置されている地域包括支援センターの活動を通して、地域の様々な立場にいる関係者間のネットワークづくりを進めている「地域包括ケアシステム」について学ぶ予定です。

本サークルには、分家筋にあたるチアダンス活動をしているSP（スマイルパイレーツ）があります。キラキラ輝くシニア世代のための活動です。所沢文化フェア、公民館まつり、デイサービス施設の訪問と幅広く地域に根差した実践活動を展開しております。そのために定期的に月2回の練習を行っております。



新作「所沢の民話」に挑戦

民話の会 薄井 文子

所沢の民話は現在「所沢市史」「ふるさと所沢」の冊子で13話が紹介されています。その中の「とんぼの宿り木」「福猫塚」「弘法の三ツ井戸」「河童の詫び証文」、そして柳瀬郷土史研究会がまとめられた「東光寺の金毘羅さん」「滝の城の竜」「南永井のさつまいも」が、私達サークルのレパートリーです。



カヤ湯

現在、サークルの目標として、ほかの所沢の民話を脚本化することに挑戦しています。

1話目は『カヤ湯』、ユーモアいっぱい。挿絵は田中健夫さん画です。所沢は昔、水の便が悪く、遠くの川まで水を汲みに行きました。大切な水を節約して生活

する有様を物語っています。

2話目は『河童のお伊勢参り』、この話は「河童の詫び証文」で、悪さをした河童のその後の話を脚本化しました。新井智子さんがまとめました。3匹の河童がタニシの蓋をお金に変えてお伊勢参りをしたという楽しいお話です。



塚ノ越地蔵

今回3話目は『塚ノ越地蔵』を選び、初めて民話の脚本化に挑戦しました。柳瀬地区坂ノ下に立つお地蔵さまの台座には「右、かめやつみち、中、とめみち、左、ちくまざわみち」と刻まれ、今でも3本の道分けに立ち道案内をしています。挿絵は山本苗子さんの力作です。

9月に開催される「ところざわ倶楽部まつり」に向けて語りの練習を重ね、ご披露する予定です。

これからも、小学校の授業、児童館、高齢者介護施設、地域のサロンで「所沢の民話」や「昔の所沢の風景」を語り継ぎ、新作「所沢の民話」の制作にも皆で取り組み、レパートリーを広げていきます。



河童のお伊勢参り

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

7月19日(金)13:00~13:30 中央公民館例会、
13:30~15:30 及川道之先生講義「古事記上巻⑩」(最終回)
8月9日(金)9:30~11:00 中央公民館DVD鑑賞、マイクロバス
で移動、12:00~14:00 頃暑気払い(場所:梅の花)

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

7月24日(水) 14:00~16:30 新所沢公民館 6号室
準会員中村静子氏によるお茶の話(アジアのお茶など)
暑気払い17:00~19:00 於:ぎょうざの満洲 新所沢東口本店
9月定例会は未定

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

7月31日(水)9:30~14:00 グループホームアンジューム所沢
地域交流室 「夏休み子供食堂」手伝い
8月例会は休み(夏休み子供食堂手伝い 自主参加)

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

7月9日(火) ロッシーニ 歌劇「セビリアの理髪師」
8月13日(火) ミュージカル映画「ラ・ラ・ランド」
& 「暑気払い会」
いずれも13:15~ 中央公民館 3階8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (園田 ヒロ子 090-4005-1882)

7月16日(火) 時間未定 課外活動
サントリービール工場見学&暑気払い
8月20日(火)10:00~12:00 ふらっと
料理実習 じゃが芋団子と熊本郷土料理

6. 地域の自然を考える会 (岩本 賢次 2923-9324)

7月23日(火)10:00~12:00 12号地生保全整備
作業:下草刈・常緑樹等の除伐
★作業ご希望の方、北中グラウンド西側のトトロ12号地に、参集
ください(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

7月16日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館研修室
定例会:ところざわ倶楽部祭り展示内容打合せ
8月6日14:00~16:00 「原発問題みんなでトーク」開催
新所沢公民館、8月度定例会は休み

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

8月7日(水)13:15~15:00 中央公民館学習室 定例会
議題 シニア世代「第2回市政ひよこ塾」企画検討
7月13日(土)、27日(土)13:00~17:00 生涯学習推進センタ
ー、中央公民館ほか チアダンス練習日 見学大歓迎

9. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

7月11日(木)13:00~15:00 新所沢公民館 定例会
定例会終了後暑気払い。
7月16日(火)9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備
7月20日(土) 山田ファーム収穫祭。
7月31日(水)9:30~11:30 ととろ21号地保全整備

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)

7月18日(木)10:00~11:30 新所沢公民館学習室5・6号
講座「埼玉の民俗文化-ふしぎ、おもしろ発見」
大館 勝治先生
8月1日(木)15:00~16:40 新所沢公民館
歴史講座「渡辺 隆喜先生を囲む座談会」終了後 暑気払い

11. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

7月6日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室7号
7月27日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室3号
8月3日(土)、24日(土)予定10:00~12:00 中央公民館
「リチャード三世」輪読、「オセロー」台本作成、朗読練習

12. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

7月9日(火)10:00~12:30 西新井町会館
洋画「追憶」(73年) ロバート・レッドフォード等
7月23日(火)10:00~12:30・~15:00 西新井町会館
特番映画 「映画の魅力について?」+ 暑気払い
そうめんパーティー 七夕まつりの宴 8月27日映画の夕べ

13. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

7月22日(月)集合13:20 ディサービス・ところ荘玄関前
13:30~14:30 ディサービスの音楽会を見学後、当会員による
終活について30分間の補習あり→脳活に関する座談会

14. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

7月16日(火)14:00~16:30 新所沢東公民館
学習会「市議選アンケート資料(村瀬氏)」をもとに所沢
市政の課題のとりまとめ、会員の自由討論
9月17日(火) 新所沢東公民館予定、テーマは未定

15. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

7月19日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館ボランテ
ィア活動室2号 定例会 民話読み合わせ
『河童のお伊勢参り』『塚ノ越地蔵』
8月21日(水)「アンジューム所沢」で民話の会

理事会報告

- ・5月14日(火) 時局講演会は満席となりアンケートも100件を超えた(HPに掲載)。
- ・文芸講座(平家物語5~6月)は好評のうちに4回シリーズを終了。葵の会秋の自主講座にご参加いただきたい。
- ・5月17日(金) 早稲田大学加瀬先生のアクティブエイジング授業に3役員参加、香港中文大学学生20名にとところざわ倶楽部の活動を紹介し、意見交換した。7月4日(木) こんどは同授業に理事6名が参加、日本人学生に倶楽部の活動を紹介し交流した。今後の同大とのつながり深耕を期待する。
- ・6月14日(金) 笠松泰洋先生の文化交流使帰国報告会は超満員の盛況。音楽サークル立ち上げの支援をいただいている。
- ・“ところざわ倶楽部まつり”
会場は9月25日松井公民館に決定
- ・時局講演会の多数のアンケートを受けて、8月6日(火)に「原発問題みんなでトーク」セッションを開催します。
場所:新所沢公民館学習室5・6号室 14:00~16:00

みんなの広場 第15回

アジア研究会 吉田 麗

ある山の思い出

30 数年前、子供たちと湯ノ丸高原にある池の平湿原に出かけました。

アップダウンの少ない山道を歩いて湿原に着くと、青空にポツカリと雲が浮かび高山植物に彩られたお花畑がありました。うす紫色のマツムシソウ、リンドウ、大好きなワレモコウ、アキノキリンソウ、可愛いらしいウメバチソウ等々が咲き乱れ、それはそれは美しい風景でした。

湿原の周遊木道の途中の岩場でのランチタイム。登山用バーナーでお湯を沸かしてカップヌードルとおにぎりのお昼ご飯。これが何ともいえないくらい美味しいのです。心地良い風に吹かれて雄大な景色を見ながらホッと一息つくコーヒータイム。楽しい家族旅行でした。

ある年の6月、梅雨の晴れ間をぬって吾妻小富士の麓の駐車場に車を停めて、浄土平、一切経山を経て、吾妻山に向かいました。歩きだして間もなく、雨が強く降り出して小さな溪谷が濁流となり、山小屋を目前に沢を渡ることができません。ツエルトも無く雨の降るなか、大岩がゴロゴロと沢を流れ落ちる音を聞きながらの一晚を過ごした時は、命の危険を感じました。雨に濡れた体も夜間の温度が思ったより下がらずに助かりました。

翌朝は幸いにも雨があがり、沢は嘘のような小川になっていて無事に帰る事が出来ました。この山行は、山での判断の甘さ、難しさもあり、今となっては懐かしい思い出となっております。

むさし野俳句会（令和元年 六月）作品抄

| | | | |
|--------------------|-------|------------------|--------|
| 地下足袋の鞋（はぎ）もどかし梅雨晴間 | 佐藤 八郎 | 駐輪のサドルも熱く夏が来る | 宮本 信生 |
| 半眼の猫の駅長梅雨に入る | 白神 恵子 | 踝（くるぶし）の覗く力士の藍浴衣 | 荒幡千鶴子 |
| 浮島となりし屋敷や田水張る | 高梨 千代 | 迷彩機の低空飛行南瓜咲く | 飯泉 陽子 |
| 蟻の巣に光さし込む真昼かな | 高橋三加子 | 居酒屋のランチタイムや初鱈 | 井出 昇 |
| リハビリに励む友への祭り寿司 | 高光 泉 | 玉苗を尻つき植うる母子かな | 海老澤愛之助 |
| ホームラン団扇のとまる野球場 | 利根川啓一 | 駆け回る風の在り処や菖蒲園 | 粕谷のぼる |
| 回廊は茅花流しの敵島 | 中嶋 弘子 | いくつもの橋を潜りて花火舟 | 河瀬 俊彦 |
| ヨガポーズ覗く窓辺の揚羽蝶 | 中村 直子 | 紫陽花や青きインクの手紙文 | 小林 貞夫 |
| 山びこのこゑまで青し夏の山 | 橋本 佑子 | 体験の袴に透く楠若葉 | 小林 典子 |
| 五月尽上がり框のランドセル | 平栗 彰子 | 土出しに始まる蟻の国造り | 鈴木 征子 |



《編集後記》

梅雨の季節もそろそろ終わりですね。私はこの心も体も潤う季節が大好きです。

それは紫陽花が好きな花だというのも理由の一つです。紫陽花というとでんでん虫ですね。上皇后様が好きだという新美南吉の「でんでんむしのかなしみ」という本をご存じですか？私は最近小学校の読み聞かせでそれを2年生に読みました。そして「皆はどんな時悲しいと思う？」と聞いたら「お母さんが死んだらー。」と大勢が答えました。「じゃあ、お母さん大切にしてくね」と。

さて「広場」に戻りましょうか。広場も皆の大事にしている広報誌ですね。沢山の人の真心がアチコチにちりばめられていますよ。是非全部読んで最高の一時をコーヒブレイクと共にお過ごし下さい。

(新井記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳(四十四) 作品発表 選 中島峯生

課題「便利」

手間いらずおかずパックに家の味
 今日の酒少しぬくめでレンジチン
 こりや便利爪を切るときやこのルーペ
 便利慣れ感謝の気持ち忘れてる
 利便性益々進化俺退化
 医者便利全てを任す愚か者

「自由句」

わが子らとラインを結び風呂はいれ
 嗅ぐ力賞味期限の上を行く
 飲みつけ検査結果はうそつかぬ
 食品の値上り風呂は一度下げ
 要るのかな老後の備え二千万
 年寄りの免許更新心配す

りんご好き
 突拍子
 りんご好き
 庵閑子
 ど閑子
 縄文人
 鼻文鬚

次回(第45回) 課題「階段」そして「自由句」
 締切り日：7月20日、担当中島まで、どなたでも
 宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax04-2928-1161